

介護の基本Ⅲ

担当教員 川俣 幹雄、小阪 勝己

配当年次 1年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

生活史、価値観を学ぶことで介護を必要とする人の理解を深める。生活を支援するうえでICFやストレングス、自立支援の観点の重要性、介護職としてリハビリテーション専門職とどのように連携を図ることが必要かを学ぶ。さらに、介護を必要とする人たちを支える制度や社会資源の活用を学ぶ。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	リハビリテーションとは？（川俣）
2	障害の理解（川俣）
3	ICFの概念（川俣）
4	介護を必要とする人の理解（生活暦と価値観）（小阪）
5	介護を必要とする人の理解（障がいや老いと向き合うことの難しさ）（小阪）
6	羞恥心を守る介護の重要性（小阪）
7	家族支援の実際（家族の介護負担、虐待発生メカニズム）（小阪）
8	家族支援の実際（精神的支援の具体的方法）（小阪）
9	介護福祉士とリハビリテーション専門職との連携の重要性（小阪）
10	生活環境と介護（小阪）
11	良い介護を生む組織・環境づくり（小阪）
12	安全確保、リスクマネジメント（KYT活動等）（小阪）
13	多職種連携の重要性（施設内で行われる多職種連携の実際）（小阪）
14	多職種連携の重要性（在宅で行われる多職種連携の実際）（小阪）
15	介護福祉士に求められているものとは何か（小阪）

【履修上の注意事項】

各回の授業テーマと関連する教科書の該当箇所を事前に予習しておくこと。授業後に復習しておくこと。演習問題は2回以上解いてください。

【評価方法】

期末試験50%、日常的学習状況50%で評価する。

【テキスト】

介護福祉士養成講座編集委員会『介護の基本Ⅰ』『介護の基本Ⅱ』中央法規 2009年

【参考文献】

適宜講義中に紹介する。